

第60期 事業のご報告

2019年3月16日 ▶ 2020年3月15日



株式会社スーパーツール

証券コード：5990

株主の皆様へ

TO OUR SHAREHOLDERS



代表取締役社長

灰野 尚己

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに2019年3月16日から2020年3月15日までの第60期の事業概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、前半は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、後半は、自然災害や消費増税などが景気の下振れリスクとして懸念される状況となりました。一方、海外では、米中通商問題や日韓問題などの長期化の影響により依然として先行き不透明感が続くなか、更に、年明け以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が世界経済に大きな影響を与える事態となったことから、経済の減速懸念が一層強まる状況となりました。

このような状況のなか、当社グループは、金属製品事業につきましては、多様化する顧客ニーズに対応すべくマーケティングオートメーションを活用した営業活動や、製造・販売・技術開発部門一体での新製品開発、社内プロジェクトチームによる製品提案などの取り組みを行ってまいりました。生産活動においては、生産効率向上、原価低減を目指した機械設備の導入やレイアウト変更などを行ってまいりました。また、社内コミュニケーション活性化を目的とした施策などにより、組織力強化にも取り組んでまいりました。

環境関連事業につきましては、固定価格買取制度改正後、厳しい事業環境ではありますが、大口の設備投資案件の受注を軸に、事情環境の変化に対応すべく、機動的な営業活動と売上確保に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は8,838百万円(前期7,469百万円、18.3%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は554百万円(同601百万円、7.9%減)となりました。

以上の業績内容を踏まえ、当期の配当金につきましては、2020年6月8日に1株につき45円をお支払させていただきました。この結果、当期の年間配当金は、中間配当金45円と合わせ、1株当たり90円となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒格別のご理解をいただき、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月



金属製品事業

国内経済は、製造業を中心に弱さがみられるなか、国内販売では、全国各地の展示会への出展や、刷新された効果的な販売企画、多様な顧客ニーズに合わせた商品提案、情報発信など細やかな営業活動を行った結果、作業工具の分野では、作業ごとに適した種類とサイズを揃えたプーラ類の販売が堅調に推移いたしました。また、産業機器の分野においては、作業性と安全性を併せ持った吊クランプが堅調に推移いたしました。しかしながら、年明けからの新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、幅広い産業で使用される当社製品の一部において販売が伸び悩み状況が見受けられました。

海外市場では、メイドインジャパンをアピールした積極的な営業活動や展示会への出展により、製品の拡販と新規取引先の獲得に注力いたしました。また、当社の主要市場である韓国において、販売子会社が現地法人の強みを活かした営業施策を展開し売上確保に努めましたが、日韓関係悪化による日本製品不買運動や新型コロナウイルスの影響などにより販売が伸び悩みました。

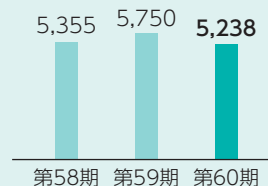
これらの結果、当事業の売上高は5,238百万円(前期5,750百万円、8.9%減)、セグメント利益は1,056百万円(同1,243百万円、15.0%減)となりました。



新製品「立横兼用吊クランプ」

売上高

(単位：百万円)



売上高構成比
59.3%

主要製品

作業工具：

レンチ、スパナ、プライヤ類・
配管工具類・プーラ類

産業機器：

治工具類・吊クランプ類・
クレーン類・マグネット類



環境関連事業

法改正により、取り巻く事業環境は厳しさを増すなか、従前より引き合いのあった大口の設備投資案件の受注、設置コストや運用面で有利な水上設置型メガソーラーなどを軸とし、太陽光関連部材のラインナップ拡充などにより筋肉質な事業体制の構築に取り組んでまいりました。また、新たなニーズに応えるべく、セカンダリー市場への参入や自家消費用への展開など幅広い取り組みを行ってまいりました。また、売電部門では、大阪府河南町及び柏原市に設置しています3か所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

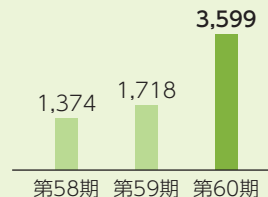
これらの結果、当事業の売上高は3,599百万円(前期1,718百万円、109.4%増)、セグメント利益は278百万円(同130百万円、113.2%増)となりました。



水上太陽光発電

売上高

(単位：百万円)



売上高構成比
40.7%

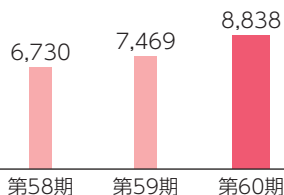
主要事業

太陽電池モジュール及び関連機器の販売
電気工事業、管工事業
太陽光発電システムの設計・施工、売電事業など

業績ハイライト

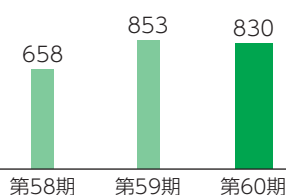
売上高

(単位：百万円)



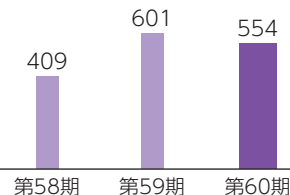
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期末	前期末
	2020年3月15日現在	2019年3月15日現在
資産の部		
POINT 01 流動資産	6,451	6,821
POINT 02 固定資産	5,815	5,970
有形固定資産	5,470	5,516
無形固定資産	12	8
投資その他の資産	332	445
資産合計	12,266	12,791

POINT 01 流動資産 370百万円減少

現金及び預金の減少976百万円、前渡金の減少654百万円、受取手形及び売掛金の減少228百万円、商品及び製品の増加1,009百万円、未収入金の増加523百万円等により、370百万円減少しました。

POINT 02 固定資産 154百万円減少

投資有価証券の減少129百万円等により、154百万円減少しました。

POINT 03 負債合計 780百万円減少

前受金の減少638百万円、短期借入金の減少450百万円、未払金の増加505百万円、長期借入金の減少130百万円等により、780百万円減少しました。

(単位：百万円)

科目	当期末	前期末
	2020年3月15日現在	2019年3月15日現在
負債の部		
流動負債	1,756	2,355
固定負債	1,507	1,689
負債合計	3,263	4,044
純資産の部		
株主資本	6,642	6,276
資本金	1,902	1,902
資本剰余金	839	840
利益剰余金	3,985	3,636
自己株式	△ 84	△ 102
その他の包括利益累計額	2,359	2,470
その他有価証券評価差額金	74	168
繰延ヘッジ損益	△ 30	△ 14
土地再評価差額金	2,317	2,317
為替換算調整勘定	△ 1	△ 0
純資産合計	9,002	8,747
負債純資産合計	12,266	12,791

	第59期	第60期
自己資本比率	68.4%	73.4%
1株当たり当期純利益	291円81銭	270円72銭

配当金推移

1株当たり配当金推移 (円)

	第57期	第58期	第59期	第60期
年間	90	90	100	90
中間	45	45	45	45
期末	45	45	55	45

※当社は、2018年9月16日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。第57期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり配当金」を算定しております。また、第59期の期末配当について、「1株当たり10円の記念配当を実施いたしました。これにより、第59期の期末配当金は55円（普通配当45円、記念配当10円）となっております。



連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2019年3月16日から 2020年3月15日まで	2018年3月16日から 2019年3月15日まで
POINT 04 売上高	8,838	7,469
売上原価	6,487	5,119
売上総利益	2,350	2,350
販売費及び一般管理費	1,425	1,403
営業利益	925	946
営業外収益	13	20
営業外費用	108	112
POINT 05 経常利益	830	853
特別利益	0	31
特別損失	0	32
税金等調整前当期純利益	829	852
法人税、住民税及び事業税	317	321
法人税等調整額	△ 41	△ 70
法人税等合計	275	251
当期純利益	554	601
親会社株主に帰属する当期純利益	554	601

POINT 04 売上高

前期に比べ1,368百万円増加しました。セグメント別では金属製品事業は511百万円減少、環境関連事業では1,880百万円増加しました。

POINT 05 経常利益

売上高の増加がありました。環境関連事業の売上構成比の上昇などにより経常利益は23百万円減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2019年3月16日から 2020年3月15日まで	2018年3月16日から 2019年3月15日まで
POINT 06 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 10	△ 30
POINT 07 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 133	△ 56
POINT 08 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 827	△ 72
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 5	2
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 976	△ 156
現金及び現金同等物の 期首残高	2,454	2,611
現金及び現金同等物の 期末残高	1,478	2,454

POINT 06 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益829百万円、前渡金の減少654百万円、未払金の増加505百万円等により資金の増加がありました。たな卸資産の増加1,006百万円、前受金の減少638百万円及び法人税等の支払377百万円等により10百万円資金が減少しました。

POINT 07 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出123百万円及び投資有価証券の取得による支出5百万円等により、133百万円資金が減少しました。

POINT 08 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の減少450百万円、長期借入金の返済による支出173百万円及び配当金の支払額204百万円等により827百万円資金が減少しました。

TOPICS 01

女性社員チーム「サクラプロジェクト」による製品提案

多様な人材が活躍する「ダイバーシティ経営」の推進が求められる昨今、産業界においても、老若男女を問わない多様な人材の現場作業負担軽減や生産性向上を目指した省力化機器のほか、女性向けデザインの作業工具などに注目が集まっています。

時代のニーズに応える開発型企業である当社においても、女性による女性目線の製品提案プロジェクト「サクラプロジェクト」を発足し、将来の製品開発の方向性を示すような製品提案に取り組んでまいりました。

参考
出品

女性社員チーム
「サクラプロジェクト」プロデュース



ツールケース(チェストタイプ)
3段引出し式



おしゃれな革製ツールロール

TOPICS 02

安心と信頼のものづくりで 地域社会に貢献

堺市産業振興センター内にあるショールーム「さかいモノ(mono)てらす」で当社製品が紹介されました。

ここでは、優れた技術や特色ある堺のものづくり企業の魅力をクローズアップして紹介されています。

さらに、同センター発行の情報誌「さかいIPC PRESS」の2020年4月号で「SAKAIの傑作」として当社が取り上げられました。

また、当社は2020年3月に「堺市ふるさと応援寄付金返礼品協力事業者」に登録され、当社製品が返礼品として採用されました。

今後も、地域に根差した活動にも取り組みながら全国にスーパーツールの魅力を発信していきます。





会社の概況 (2020年3月15日現在)

設立	1960年12月10日
資本金	1,902百万円
本社・工場	大阪府堺市中区見野山158番地
支店	大阪支店(大阪府堺市) 東京支店(東京都品川区) 名古屋支店(名古屋市中区)
営業所	札幌営業所(札幌市白石区) 仙台営業所(仙台市若林区) 新潟営業所(新潟市東区) 北関東営業所(さいたま市見沼区) 広島営業所(広島市西区) 福岡営業所(福岡市博多区)
物流センター	東部物流センター(さいたま市見沼区)
子会社	株式会社スーパーツールECO(本社:大阪府堺市) SUPER TOOL KOREA CO., LTD.(韓国ソウル市)

役員 (2020年6月5日現在)

代表取締役社長	平野 量夫
取締役	田中 穰
取締役	熊谷 宏
社外取締役	赫 高規
取締役等 監査委員	河村 信広
社外取締役等 監査委員	田中 豪
社外取締役等 監査委員	深堀 知子



株式の状況 (2020年3月15日現在)

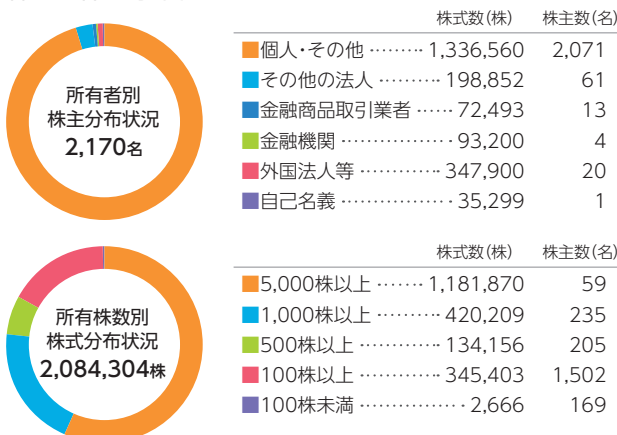
発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式総数	2,084,304株 (自己株式数35,299株を含む)
1単元の株式の数	100株
株主数	2,170名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD-SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8221-563114	96	4.69
BANK JULIUS BAER SINGAPORE INDIVIDUAL PORTFOLIO NO. SG06922000-02	88	4.29
濱中ナット株式会社	65	3.20
NIHON GLOBAL GROWTH PARTNERS LLC	61	3.01
株式会社SBI証券	51	2.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	45	2.22
竈 利英	45	2.21
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	44	2.16
吉川 明	35	1.73
株式会社池田泉州銀行	34	1.65

※ 持株比率は自己株式(35,299株)を控除して算出しております。

株主・株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月16日から翌年3月15日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月15日
中間配当金 受領株主確定日	9月15日
定時株主総会	毎年6月（事業年度末日の翌日から3ヵ月以内）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.supertool.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単元株式数	100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



株式会社スーパーツール

〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地
TEL (072) 236-5521(代表)

ホームページ
のご案内

<https://www.supertool.co.jp>

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報、製品情報などさまざまな情報をご提供しています。

スーパーツール

検索



IR情報



製品情報



カテゴリーや目的別に詳しい製品情報を見ることができます。またピックアップ製品としてスーパーツールがおすすめする新製品等をご紹介します。

動画で見るツール使用法



チラシ等のPDFや使用例の動画をご用意しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。